

実施要領

1 事前準備

- (1) 消火器（水消火器）を所定の位置に置き、係員の点検を受ける。
- (2) 発進枠に入り、①番員が「準備よし」と係員に合図して発進の合図を待つ。

2 ①番員の操作要領

- (1) 発進の合図で、出火場所の想定用紙を確認する。
- (2) ②番員に出火場所を「〇〇が火事」と2回以上繰り返す要領で伝達する。
- (3) 119番をダイヤルし、「火事です」「呉市西中央3丁目1-9のビルの〇〇が燃えています」の要領で通報し、係員の「よし」の合図で受話器を置く。
- (4) 予備消火器を『予備消火器搬送枠』に搬送し、その後ポリ容器3個を『容器搬送枠』に搬送する。
- (5) 出口へ向かう。

注1 出火場所の想定用紙は倉庫、事務所、食堂の用紙から抜き取って決定する。

注2 消火器やポリ容器は投げてはならない。（②番員も同様）

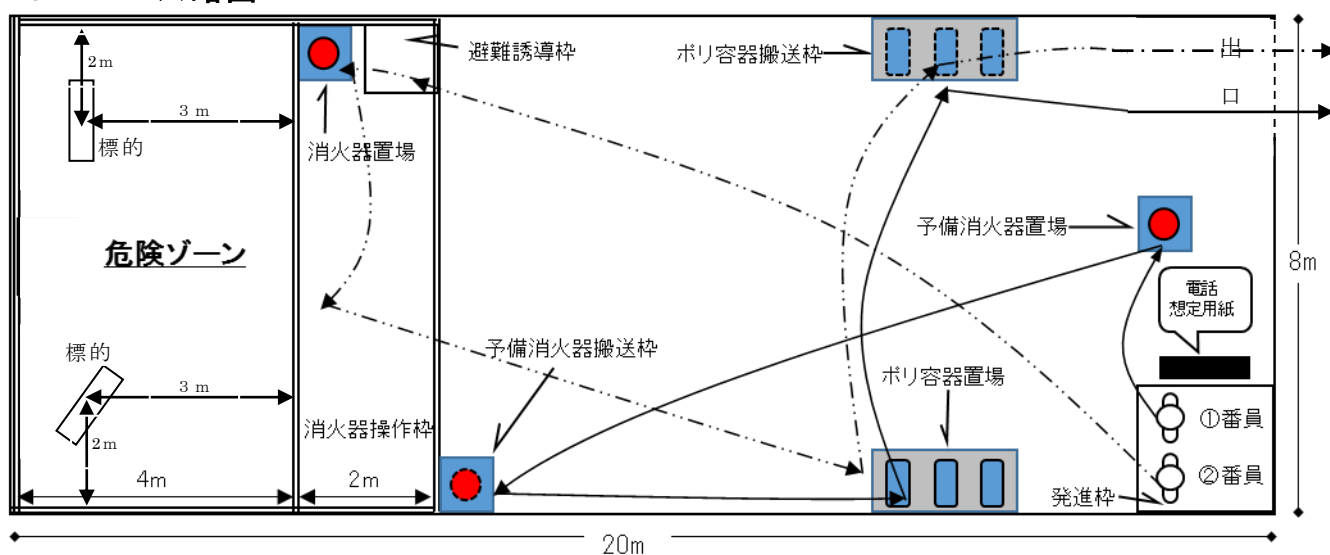
3 ②番員の操作要領

- (1) ①番員の出火場所の伝達を受けて「よし」と呼称する。
- (2) 『避難誘導枠』内で「〇〇が火事です、避難してください」を3回以上繰り返す要領で避難誘導を行う。
- (3) 消火器置場の消火器を使用して消火（的（*ポイ）に穴を開ける。）する。
なお、1本目の消火器で消火することができないときは、予備消火器を使用して消火（的（*ポイ）に穴を開ける。）する。
- (4) 出口へ向かう。

* ポイは、金魚すくい、ボールすくい等で用いるものを使用する。

注1 消火後は①番員の容器搬送を補助してもよい。

4 コース略図



※各矢印は①・②番員の操作による動線の軌跡例を表す。

※寸法等 (m) 消火器操作枠：2×8 危険ゾーン：4×8 発進枠：2×2 避難誘導枠：1×1

ポリ容器置場・搬送枠：1×2 各消火器の置場・搬送枠：0.5×0.5 ポリ容器：ポリエチレン18リットル容器

5 審査基準

持点を100点とし、減点項目に該当する行動があった場合には、該当項目の減点数を持点から差し引き、点数が高いチームから順位を決定する。
 なお、点数が同点の場合、競技に要した時間が短いチームから順位を決定する。

① 番員の減点項目	減点数
出火場所を2回以上繰り返して伝達しなかった。	5
通報内容に不備があった。	5
係員が「よし」と合図する前に受話器を置いた。	5
予備消火器を『予備消火器搬送枠』に搬送しなかった。	10
消火器を投げた。	5
ポリ容器を投げた。	5
ポリ容器を倒したままにした。(直ちに直した場合は、減点の対象とならない。)	5
この要領に規定されていない事項で、審査委員が不適・危険と認める行動を行った。(例) 競技中に転倒した。	5

② 番員の減点項目	減点数
出火場所の確認の合図をせず、『発進枠』内から出た。	5
避難誘導を行わなかった。(要領の不適も含む。)	5
消火器を『操作枠』外で操作した。(安全栓及びホースの操作を含む。)	5
『危険ゾーン』内に入った。(足で線を踏んだまたは超えた状態をいう。)	10
的(ポイ)に穴を開けることが出来なかった。	10
消火器を投げた。	5
ポリ容器を投げた。	5
ポリ容器を倒したままにした。(直ちに直した場合は、減点の対象とならない。)	5
この要領に規定されていない事項で、審査委員が不適・危険と認める行動を行った。(例) 競技中に転倒した。	5